

令和四年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和四年五月一日〜令和四年七月末

選者 星野椿、星野高士

投句数 二、六四〇句

特選三句

天

谷戸奥のやぐら諸仏に滴れり

東京都杉並区 野村 親信

地

のぼり来て山門奥の凌霄花

東京都町田市 星野 佐紀

人

参道は四葩の絵巻東慶寺

神奈川県横浜市 加藤 文男

入選句

一般の部(十五句)

夏来る沖の白帆の三つ四つ

神奈川県横浜市 岡田 克也

炎帝の仕打ちに浜は上機嫌

神奈川県鎌倉市 角谷 昌則

品書きに立子の句添へ夏料理

神奈川県横浜市 加瀬 伸子

老鶯ややぐらに虚子は眠りをり

東京都武蔵野市 齊藤 百合子

雨けぶり谷戸の奥まで梅雨に入る

神奈川県横浜市 佐藤 満

水無月や僧の作務衣の藍褪せて

埼玉県川口市 高梨 孝

ひたすらに机に向かう夏休み

東京都渋谷区 竹内 雅郎

新樹光谷戸にはじける栗鼠の声

神奈川県横浜市 田阪 武夫

鎌倉や歩け歩けど夏の風

東京都足立区 田中 正博

紫陽花のみなこちら向き明月院

神奈川県横浜市 谷田 八千代

万緑や鎌倉彫の赤漆

神奈川県茅ヶ崎市 原田 博之

参道の隠るる程の四葩かな

埼玉県狭山市 古谷 多賀子

源平の風吹き抜けし藤の花

神奈川県横浜市 山下 省三



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・  
鎌倉俳句&ハイク実行委員会  
〒248-0016 鎌倉市長谷 1-5-3  
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内  
TEL 0467(22)5010  
URL <http://www.kamakura-haiku.com/>

涼しげに独りたたずむ青地藏

神奈川県横浜市 劉 明峰

走り梅雨托鉢僧の草鞋かな

埼玉県坂戸市 渡邊 俊一

子どもの部(十五句)

八幡宮いろんな色の牡丹咲く

神奈川県鎌倉市 関野 六花

紫陽花の色鮮やかな河川敷

大阪府東大阪市 田中 未緒

舞い踊る風とお相手あめんぼう

神奈川県藤沢市 野沢 日菜

夜の空ドーンとあがる花火みた

神奈川県鎌倉市 阿久津 心海

アサガオが朝の世界でおどってる

神奈川県鎌倉市 湊 真愛

夏休みやる事やって後遊ぶ

神奈川県鎌倉市 牧村 逸希

真夜中にほたるの光やみをほる

神奈川県鎌倉市 川久保 晴

大仏に見とれていたら夏のそら

東京都大田区 上山 和真

黒い影徐々に近づく梅雨入りかな

神奈川県川崎市 栗屋 七瑠

疲れ果て滴る汗と雨の音

神奈川県川崎市 加藤 美海

梅雨の空広がる波紋と波の音よ

神奈川県川崎市 増山 光

炎天下青空背負う赤鳥居

静岡県田方郡 須藤 涼音

苔茂る歴史に気づく卍池

静岡県田方郡 長澤 響

鎌倉の大仏供物愛の薔薇

静岡県田方郡 中島 洋典

夏の海はしやいで濡れたスニーカー

静岡県田方郡 山口 稀月

(順不同)